

- 神奈川県では、このリーフレットでご紹介させていただいた「防災アセスメント調査」の説明会を、次のとおり実施いたします。
- 説明会への参加を希望される方は、お手数ですが、必要事項を記載して、ファクシミリ、郵送又はホームページにてお申し込みいただきますよう、お願いいたします。
- なお、会場の都合により、定員を超えた場合は、ご連絡させていただきますが、連絡がない場合は、当日、そのまま会場にお越しください。

神奈川県防災アセスメント調査結果説明会 参加申込み様式

【開催予定日及び会場】

平成27年11月12日(木) 午後7時～
磯子地区センター第1・2会議室(横浜市磯子区磯子3-1-41)
※概ね2時間弱を予定しております。
※会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【説明会次第】

① 防災アセスメント調査結果の説明及び安全対策の紹介 ② 質疑応答

【申込み方法】

事前に参加人数を把握させていただくため、次の必要事項を記入の上、次の申込先まで、ファクシミリ、郵送又はホームページにてお申込みください。

【申込み〆切】

平成27年11月4日(水)

ご住所	
電話番号	
参加者の ご氏名	

【問い合わせ・申込み先】

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県安全防災局安全防災部工業保安課コンビナートグループ 中田、田澤
電話番号: 045-210-3479、**ファックス番号 045-210-8830**
URL: <https://cgi.pref.kanagawa.jp/ques/questionnaire.php?openid=2000001457>

【防災アセスメント調査結果の公表について】

神奈川県石油コンビナート等防災アセスメント調査の結果は、次のホームページで全文を公表しています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5050/p714212.html>



神奈川県
安全防災局 工業保安課

未定稿

石油コンビナートの地震防災対策について

— 神奈川県石油コンビナート等防災アセスメント調査結果の
あらましのご紹介と説明会開催のご案内 —



出典:「川崎臨海部コンビナートの安全対策」(川崎市消防局)

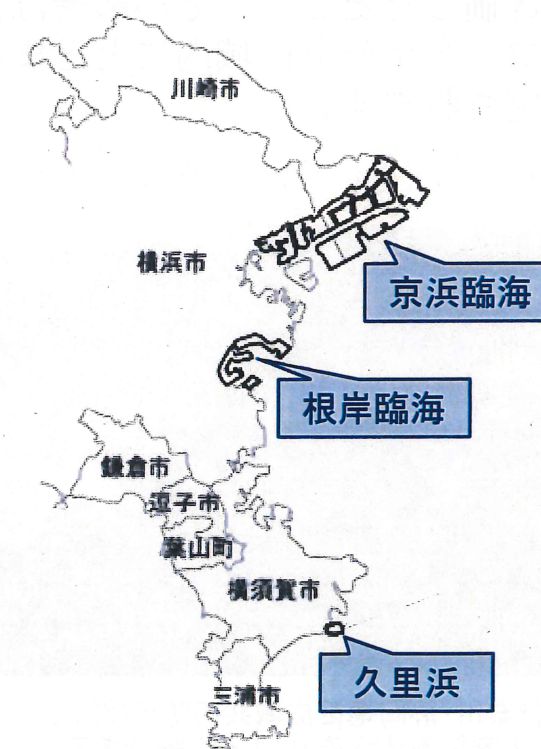
神奈川県の石油コンビナートは、全国有数の規模を持ち、製油所や化学工場などでガソリンや石油、化学素材等、私たちの生活に欠かせない製品を供給している重要な拠点です。

石油コンビナートでは、災害や事故等に備え、県や市、事業者などが協調し、従来から、防災対策を進めてきました。

神奈川県では、平成23年に発生した東日本大震災の知見をもとに、平成25年度から平成26年度の2年間で、「**防災アセスメント調査**」を実施しました。

この調査は、都心南部直下型地震や南海トラフ巨大地震など、発生の可能性の高い地震等による石油コンビナートへの被害状況等を推定するために、実施したものです。

このたび、地域にお住まいの皆様へ、この調査結果と地震防災対策についてのあらましを、ご紹介します。



神奈川県内の石油コンビナート

防災アセスメント調査では、発生の可能性が高い地震など6つの地震※による石油コンビナートへの被害状況を推定しておりますが、今回は根岸臨海地区に影響がもっとも大きい地震による被害状況等をご紹介します。

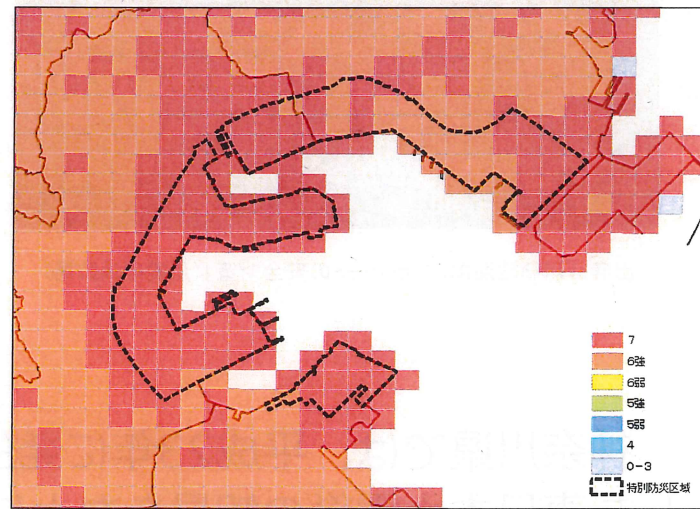
想定地震	発生確率	被害	選定理由
大正型関東地震	30年以内で ほぼ0~5%	最大震度 7	根岸臨海地区での 震度が最大
南海トラフ巨大地震	30年間以内 70%	津波による 浸水施設なし	根岸臨海地区での 津波が最大 等

※都心南部直下地震、三浦半島断層群の地震、神奈川県西部地震、東海地震、南海トラフ巨大地震、大正型関東地震

1 地震の揺れで、タンクや配管の破損等による火災や爆発

【防災アセスメント調査の結果】

6つの地震のうち、大正型関東地震が発生した場合、根岸臨海地区では最大の震度となると想定されます。地震の強い揺れに起因する少量のガス漏れによる小火災や、タンク本体の破損による大量漏えい・爆発など、大小様々な規模の災害について、評価したところ、その影響は、概ねコンビナート区域内にとどまると想定されます。



大正型関東地震による震度分布

【防災対策の概要】

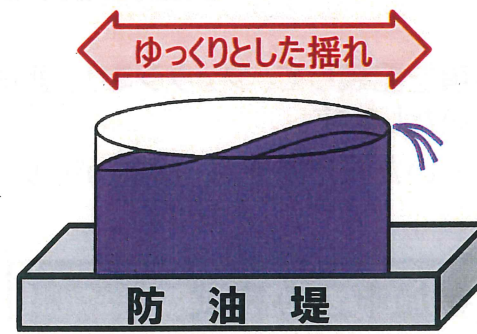
地震による火災や爆発等の災害を最小限に防ぐには、高圧ガスタンク等の耐震化等が重要ですが、県では国の耐震基準ができる前の昭和48年から、独自の基準を定め京浜臨海部の事業者の皆様と対策に取り組んできました。

今後は、こうした耐震化等に加えて、消火設備を活用した訓練など、火災等が万一発生した場合でも、被害を最小限にするための取組みを進めていきます。



神奈川・静岡地区広域共同防災協議会「大容量泡放水砲」による訓練の様子
(タンク火災に対応する防災資機材)

2 地震のゆっくりとした揺れで、危険物タンクからの石油等の流出



【防災アセスメント調査の結果】

南海トラフ巨大地震が発生した場合、危険物タンクが大きくゆっくり揺すられて、京浜臨海地区の浮き屋根式危険物タンク56基のうち、最大で2割強※から、石油等の内容物が流出する可能性があります。

※全ての危険物タンクが「満タン」状態と仮定して推定しているため、実際に流出する危険物タンクは、2割強より少なくなります。

【防災対策の概要】

こうした危険物タンクからの流出に対しては、タンク周辺に流出油の受け皿となる防油堤を設け、周囲への拡散を防止しています。

また、その防油堤をはるかに超える量の場合でも、さらに外側にも流出油の防止堤があり、広い範囲への拡散を二重に防止しています。

今後は、大型の消火設備を活用した訓練など、火災等が万一発生した場合でも、被害を最小限にするための取組みを進めていきます。

3 津波で、電気設備等の浸水被害

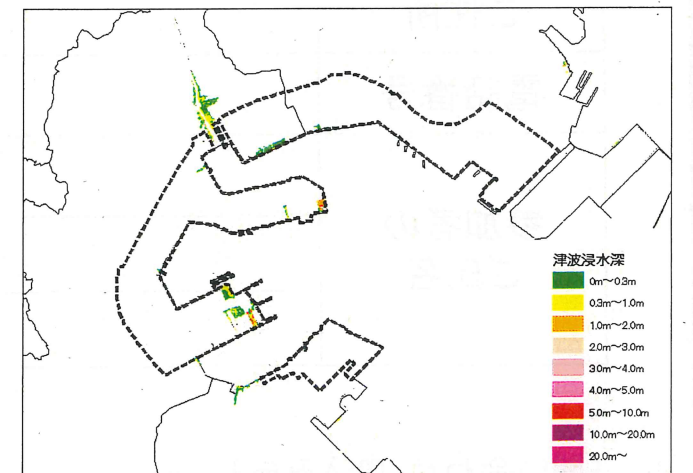
【防災アセスメント調査の結果】

南海トラフ巨大地震が発生した場合でも、根岸臨海地区では浸水する施設はないため、高圧ガス設備や危険物タンク本体が浮き上がり流されることによって発生する火災等の被害は想定されません。

【防災対策の概要】

地震による津波の発生に対しては、設備の停止等の対応を、各事業者が事前に定めています。

今後は、津波発生を想定した訓練などの取組みを進めていきます。



南海トラフ巨大地震における津波浸水予測図

今後の対応は？ ~防災アセスメント調査結果をふまえて~

地震等による被害を最小限にするために、今回ご紹介した防災アセスメント調査結果をもとにして、平成27年度に「神奈川県石油コンビナート等防災計画」を修正し、根岸臨海部の事業者の皆様と、より安全で安心できる防災、減災の取組みを進めていきます。

大都市制度フォーラム

資料4

in 磯子

先着
600名
事前申込制

参加費
無料

横浜がさらに魅力あふれる都市へと成長していくためには、何が必要なのでしょう。

未来のために、これからの横浜について一緒に考えてみませんか？

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

平成 27 年
11 月 28 日 (土)

13:30~16:00
(開場 13:00)

磯子公会堂

当日は、開場から開演までの間、「杉劇リコーダーズ」による演奏を行います。

開会挨拶

高田 誠 氏 磯子区連合町内会会長 会長

第1部 基調講演

「魅力と活力あふれる都市の実現に向けて」



林 文子 横浜市長

<プロフィール>

BMW東京(株)代表取締役社長、(株)ダイエー代表取締役会長兼 CEO、日産自動車(株)執行役員等を歴任。2009年8月横浜市長就任。現在2期目。米フォーチュン誌「世界ビジネス界で最強の女性50人」(05、06年)、在日米国商工会議所(ACCJ)「2014パーソン・オブ・ザ・イヤー」等受賞歴多数。2014年4月より、指定都市市長会会長に就任。

第2部 活動報告

「地域主体のまちの再生と活性化の取組

-洋光台のまちづくり活動を通じて-

三上 勇夫 氏 洋光台連合自治町内会 会長

<プロフィール>

一級建築士として数々のまちづくりに携わった経験を活かし、「洋光台まちづくり協議会」を立ち上げ、地域主体による次世代に向けたまちづくりを進めている。

第3部 座談会

「横浜市が目指す大都市制度『特別自治市』とは？」



齊藤 由貴 氏 女優

柏崎 誠 横浜市副市長

小林 正幸 横浜市磯子区長

齊藤 由貴 氏

司会進行 岩崎 里衣 氏 フリーアナウンサー

齊藤 由貴氏 女優

横浜市出身。1984年「少年マガジン（講談社）」第3回「ミスマガジン」でグランプリに選ばれデビュー。「スケバン刑事」、「はいすくーる落書」等の代表作や「卒業」、「夢の中へ」等のヒット曲をもち、TV・映画・舞台等において幅広く活躍中。2016年には、NHK大河ドラマ「真田丸」に阿茶局役にて出演予定。

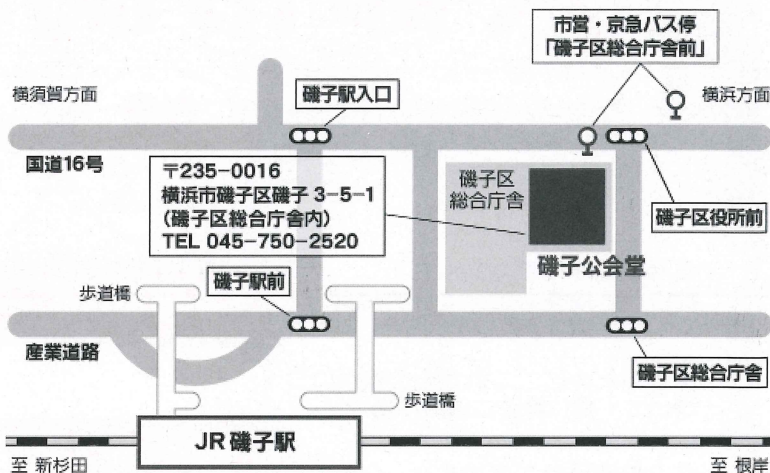
柏崎 誠 横浜市副市長

1979年入庁。瀬谷区副区長、地球温暖化対策事業本部長、港北区長、財政局長等を歴任し、2014年4月から現職。

【司会進行】

岩崎 里衣氏 フリーアナウンサー

神奈川県出身。テレビ・ラジオ等でのリポーター、イベントやコンサートのMCとして、横浜、東京を中心に活動。現在、ラジオ日本「ホット横浜」「ヒューマントーク」、ビジネス・ブレイク・スルー「組織人事ライブ」等に出演。



【会場案内】

磯子公会堂（横浜市磯子区磯子 3-5-1 磯子区総合庁舎内）

【交通案内】

JR 根岸線「磯子駅」徒歩5分

※駐車場(有料)は混雑が予想されます。当日は公共交通機関をご利用ください。

参加申し込み方法

参加ご希望の方は、下記の参加申込書に、①代表者の氏名、②参加人数（代表者を含めた総数）、③電話番号、④FAX番号（FAXでお申込みの場合）をご記入の上、「郵送」「FAX」「電子メール」にてお申し込みください。電話による申し込みも可能です。

郵送 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 横浜市政策局大都市制度推進課 行

FAX 045-663-6561

電子メール ss-1128forum@city.yokohama.jp

電話 045-671-2952

手話通訳・筆記通訳をご希望される方へ

手話通訳・筆記通訳が必要な場合は、その旨を備考欄にご記入ください。

【受付期間】 平成 27 年 10 月 5 日（月）～ 11 月 20 日（金）

※11月20日（金）必着とし、先着順で受付。定員600名で応募を締め切らせていただきます。

※参加証は発送しませんので、当日会場にお越しください。

なお、申込者多数によりご参加いただけない場合、11月20日（金）までに電話等でご連絡いたします。

（11月20日（金）までに連絡がない場合は、参加可能です）

※いただいた個人情報は、本フォーラムに関する事務以外には使用しません。

大都市制度フォーラム in 磯子 参加申込書

フリガナ 代表者氏名	()	参加 人数	人
電話番号	()	—	
FAX 番号	()	—	
備考			

お問い合わせは、横浜市政策局大都市制度推進課（Tel：045-671-2952、Fax：045-663-6561）まで

区役所職員がご相談をお受けします

予約不要

生活にお困りの方への相談会

お一人で悩んでいる・身近に心配な方がいる…など
どなたでも どこでもご参加いただけます。

個別相談あり、秘密は守ります。

例えば・・・

同居の無職の子の
将来が心配

お金のやりくりが
うまくいかない

収入はあるが借金の
返済で苦しい

仕事が決まらず
生活が苦しい

場 所	日	時
屏風ヶ浦ケアプラザ	10月29日(木)	14時～16時
新杉田ケアプラザ	11月10日(火)	13時～16時
根岸ケアプラザ	11月25日(火)	15時～17時
洋光台ケアプラザ	12月4日(金)	14時～16時
磯子ケアプラザ	12月7日(月)	13時～16時
滝頭ケアプラザ	12月8日(火)	15時～17時

※最初に支援メニューの説明をいたします。その後、個別相談を実施します。

連絡先: 磯子区役所 福祉保健センター 生活支援課 ☎ 750-2408

第7回磯子区民駅伝大会



いそごランナー集合!!

平成27年11月29日(日)

受付 8:30～ 開会式 9:00～ 競技開始 9:30～

競技志向の方も、マイペースで楽しみたい方も走力に応じて楽しめる区民駅伝です!
地域、学校、会社などお仲間、お友達で大勢のご参加お待ちしております!
優秀チーム・選手には日産スタジアム駅伝・横浜マラソンチャレンジのチャンス!

会 場:(株)IHI横浜事業所 磯子区新中原町1

募集期間:10月1日(木)～10月31日(土)まで

参加対象:走者全員が磯子区在住、在勤、在学

競技部門:①小学生3、4年生

②小学生5、6年生

③中学生女子

④一般女子(高校生～60歳未満)

⑤シニア女子(60歳以上)

⑥連合女子(各地区連合単位のチーム)

⑦中学生男子

⑧一般男子(高校生～60歳未満)

⑨シニア男子(60歳以上)

⑩連合男子(各地区連合単位のチーム)

※1チーム=走者4名(補欠選手1名を登録することができます)

※学年など対象外の方の参加はできませんので、ご注意ください。

区間距離:①各1km ②～⑥各2km ⑦～⑩各3km

参加料:1チーム 小・中学生 2,000円 一般・シニア・9連合 5,000円

主 催:磯子区民駅伝大会実行委員会 後援:磯子区役所

特別協力:(株)IHI横浜事業所



キャプテンわん
 (C)ゆず華・(公財)横浜市体育協会

**9月より「募集要項」を磯子区内公共施設で
 配布します! 募集期間 10月1日(木)～31日(土)**

〈お問合せ〉磯子スポーツセンター【磯子区民駅伝大会実行委員会事務局】

URL: http://www.yssp.or.jp/isogo_sc_ysa

横浜市磯子区杉田5-32-25 電話 045-771-8118

みんな集まれ!

ふくしの広場

2015 10月25日(日)

開催場所

磯子センター

10:00~
15:00

雨天決行

荒天の時には
中止する場合があります

イベントいろいろ!

ミニステージでの
演奏や発表♪

『福祉体験』
手話や車いすの体験!

『ボランティア
活動って?』

布おもちゃ等活動内容の紹介

『災害に備える大事なこと』
AED講習や
災害ボランティアネットワークの紹介

障がい者施設等の
クッキーやケーキの
販売もあるよ!

スタンプラリーに
参加して
プレゼントをGET!

子ども虐待防止の呼びかけとその実現を目指す
『オレンジリボンたすきリレー』の
中継点に!(14:15分頃通過予定)



磯子区社協キャラクター「ふくちゃん」

主催: 社会福祉法人

横浜市磯子区社会福祉協議会

共催: 磯子センター・磯子地域ケアプラザ

後援: 磯子区役所

〒235-0016

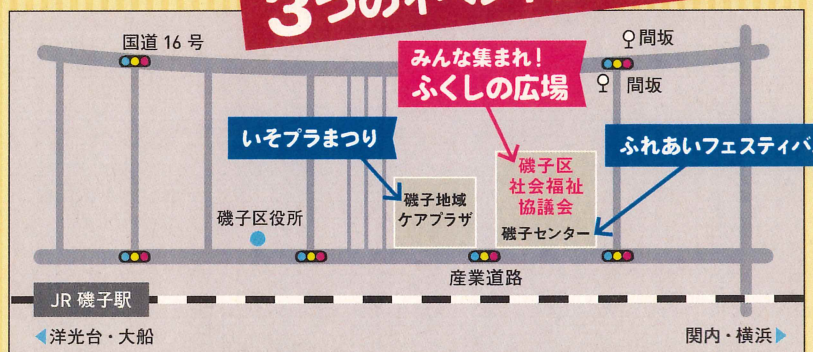
横浜市磯子区磯子3-1-41 磯子センター5F

(JR 磯子駅西口より徒歩12分)

TEL 045-751-0739 FAX 045-751-8608

URL <http://www.isoshakyo.com/>

3つのイベントが同日開催!



駐車場がないため、車での来場はできません。公共交通機関をご利用ください。

着任のご挨拶

横浜保護観察所 保護観察官 安齊 勉

本年四月から磯子区を担当させていただいております、保護観察官の安齊と申します。まだまだ半人前な保護観察官ですので、磯子区の保護司の先生方には、ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思われまますので、ご指導並びにご鞭撻を賜りたく、この場をお借りいたしましてお願い申し上げます。



私は昨年 3 月まで約 15 年間横浜市金沢区に住んでおりました。自宅は金沢区内でも磯子区と隣接した地域だったため、通勤では新杉田駅を利用し、日頃から新杉田駅や杉田駅周辺のスーパーマーケットや商店街・飲食店等を利用していました。また、休日には子供を連れて磯子駅近くの大型玩具店や、洋光台駅近くの横浜子ども科学館、夏には根岸駅近くの横浜プールセンターと、私にとってとても馴染み深い地域を担当させていただくこととなり、本当に嬉しく感じております。さらに、磯子保護司会の総会や地域別定例研修に出席させていただき、磯子保護司会の保護司の先生方とお話し等をさせていただき、先生方の心温かく気さくな人柄に触れることによって、磯子区を担当させていただけることへの喜びがより一層増しました。

私にとって親しみのある地域が犯罪や非行の少ない明るい街になるため、磯子保護司会の保護司の先生方にご迷惑等をかけないよう、一生懸命仕事に取り組んでまいります。しかし、冒頭にも述べましたとおり半人前の保護観察官ですので、先生方の御力添えを頂ければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

新任保護司になって

杉田地区 和田 泰治

40 年を超えるサラリーマン生活に別れを告げ、今までの神奈川都民から地域住民として、言わば通勤族から自宅近隣徒歩族になりました。しかしながら悠悠自適の身分でもなく、少しはお役に立てる何かをと①地元で②未知の分野③社会還元をキーワードに模索していたところ旧交ある保護司の方から本職に推されました。



保護司について漠然とした知識で臨んだ本年 4 月の新任研修でしたが、そこで社会貢献度の高いこの仕事がまさに地域に根ざした仕組みの中で支えられている事を知りました。

委嘱を受けて改めて役割の重責を痛感致しました。自分自身の今までの社会的経験が少しでもお役に立てるよう謙虚に誠意を持って職務に励みたいと思っております。何卒ご指導の程宜しくお願い致します。

事務連絡

保護司の異動 (敬称略)

退任保護司 窪田 廣子 [滝頭地区] 平成 27 年 3 月 31 日付

伊澤 義美 [上笹下地区]

大変永い間ご尽力ありがとうございました。

第 63 回横浜市更生保護大会受表彰者 (敬称略)

●横浜市長感謝顕彰

保護司 野波 伸光
保護司 新井 貴
保護司 官野けい子
更生保護女性会 木村トシ子

●横浜市会議長感謝顕彰

保護司 鈴木 利則
更生保護女性会 永井 圭子
更生保護女性会 中嶋 征子

●横浜保護観察所長感謝状

更生保護女性会 杉本 房子

●横浜市保護司会協議会会長表彰

保護司 羽田 明國

編集委員メンバー

丸山 見友希
松原 竹雄
澤出 里子
小川 江一
中村 晴美
中村 満智子
早川 弘子
梶ヶ谷 克代
村松 正江
三森 弘美
宮崎 照子

※ご意見・ご感想をお寄せください (事務局：751-0739)



No.57
 磯子保護司会
 磯子区更生保護女性会
 〒235-0016
 磯子区磯子3-1-41
 磯子区社会福祉協議会内
 TEL 751-0739
 FAX 751-8608
 発行人 丸山 見友希
 早川 弘子

徽章

 (保護司)

 (更生保護女性会)

第 65 回「社会を明るくする運動」



7月11日(土)新杉田駅前にて「社会を明るくする運動」実施

「社会を明るくする運動」を通じて

横浜市立岡村中学校 長浜 海優

私は、今回「社会を明るくする運動」に参加して、人と関わることの大切さを学びました。

歩いている人にティッシュを配るとき、思った以上に緊張してしまい、最初はなかなか渡せませんでした。でも、周りの友達が緊張しながら、「お願いします!」と声を掛けながら渡している姿を見て、私も勇気を出して渡すことができました。笑顔で受け取ってくれる人や、「ありがとう」と言ってくれる人がいてすごく励まされました。配り終えたときには達成感があり、やってよかったと思いました。

社会を明るくするためには、みんなの協力が必要です。そのため、明るい社会を実現するためには、人との関わりを恐れず勇気を持って物事に取り組むことが大切だと知りました。今回の私たちの活動が、犯罪をしてしまった人が世の中に戻って更生することを少しでも支援することが出来たら嬉しいです。人との関わりの中で、みんなで声を掛け合って、より明るい社会になっていけば良いと思いました。



↑更生保護のマスコットキャラクター 更生ペンギンのホゴちゃん

着任のご挨拶

横浜保護観察所長 田中 一哉

本年4月1日付けで横浜保護観察所長を拝命しました。よろしくお願い申し上げます。

磯子保護司会及び磯子区更生保護女性会の皆様には、平素のお力添えと御労苦に心から感謝・御礼を申し上げます。

現在、再犯防止が国の重要課題となっています。昨年（平成26）12月、政府の犯罪対策閣僚会議が決定した宣言「犯罪に戻らない・戻さない」は、2020年東京五輪を控え、「世界一安全な国 日本」の実現が課題であり、犯罪や非行をした人々を「責任ある社会の一員として再び受け入れる社会環境」を構築するため、彼ら・彼女らの①仕事と②居場所を確保するとしています。職業の有無で再犯率が4倍も違うほど、仕事の確保は立ち直りに重要です。

そこで、法務省では、平成18年度から厚生労働省と「刑務所出所者等総合的就労支援対策」を推進してきました。

本年度は、同対策に加え、協力雇用主の方々に奨励金を支給できる制度が予算化され、現在、これを活用しながら、雇用の拡大を図っているところです。

皆様には、引き続き、御協力いただける事業者さんに関する情報の提供や雇用主との組織的な連携について、お願い申し上げます。

次に、年間全国で約6400人が帰る場所がないまま刑務所を出所しています。宣言が示す居場所づくりでは、こうした人々を減少させることも重要な課題です。帰住地のない刑務所出所者等を宿泊させ、指導・支援を行う民間の更生保護施設は、神奈川県下に4施設あって、県・地域の安全と安心に大きく貢献しています。

これらの施設の運営には、地域の方々の御理解が必要不可欠であり、御理解を促進するためには、地域にお住まいの保護司や女性会員の方々の御声援ほど心強いものではありません。更生保護施設に対する御支援につきましても、引き続きお願い申し上げます。

以上に加え、保護司活動の基盤整備、本年6月本格実施に移行した社会貢献活動の円滑な実施、来年予定される刑の一部の執行猶予制度の施行の準備等々課題は山積しています。

いずれについても、知恵を絞り、汗を流して取り組んでいく所存ですので、今後とも、御支援と御叱咤をよろしくお願い申し上げます。



就任のご挨拶

磯子区長 小林 正幸

4月に磯子区長に就任しました小林正幸です。

磯子保護司会及び磯子区更生保護女性会の皆さまにおかれましては、日頃から区政の運営に御理解、御協力いただき、厚くお礼申し上げます。また、地域において、更生しようとしている方々の見守りや相談・助言等をはじめ、犯罪等を予防するための活動、啓発運動にも取り組んでいただいています。これらの活動により、明るく安心して暮らせるまちづくりにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

先日、65回目を迎えた「社会を明るくする運動」の街頭キャンペーンに参加し、磯子区内の中学校の生徒の皆さんと普及啓発のためのリーフレット等をお配りしました。これからの次代を担う若者が地域の方々と活動を共にし、更生しようとする方への理解を深め、そして犯罪を未然に防ぐことの必要性を学ぶことは、大変意義のあることと思います。このような活動を毎年実施していただき、本当にありがとうございます。

磯子区役所では、区政運営方針の基本目標を「『地域の人たちとともにつくる暮らしやすいまち・いそご』を目指して」としています。平成26年度の市民意識調査では、磯子区は、定住意向が71.1%と18区中1位でした。これは、利便性や居住環境だけでなく、長年受け継がれてきた磯子区民の皆さまの地元愛、つまり、身近な地域で支えあい、住んでいるまちを良くしようという思いの表れだと感じています。

しかし近年、少子高齢化、核家族化、1人暮らし世帯の増加等により、地域のつながりが希薄化しています。だからこそ、孤立しないよう、非行に走らないように地域で見守り、支え、育んでいくことが大切です。第2期磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）では、地域での「つながり」を育み、「支えあう」という考えのもと地域の皆さまが取組を進めています。この取組をさらに継続し充実するよう、現在、第3期計画を策定しています。これからも、さらに地域の皆さまが磯子区に暮らしてよかったと思えるようなまちづくりを、私達も皆様と一緒に進めてまいります。

磯子保護司会及び磯子区更生保護女性会の皆さまにおかれましても、日々の活動の中で大変なことも数多くあることと思いますが、心身ともにご自愛いただきながら、犯罪や非行のない地域づくりに取り組んでいただきたいと強く願っております。

今後とも、更生保護活動の充実とともに、保護司会、更生保護女性会の発展に向けて、一層のご活躍を期待しております。



岡崎医療刑務所を見学して

磯子区更生保護女性会 根本 喜子

6月18日（木）に愛知県岡崎市にある岡崎医療刑務所を見学しました。この施設は、精神障害の男子受刑者に対して専門的治療処遇を実施している刑事施設です。

発足は古く明治14年に設置、受刑者収容定員は269名、現在150名が収容されています。施設内では軽症の受刑者が重度の受刑者の面倒をみる体制で、単純工程の軽作業が行われています。中でも草花、特に蘭などの栽培は人間本来の喜びである土に親しむ作業は精神的不安や緊張を和らげる治療効果があるそうです。その他にもシャボン玉の製作や、自動車部品のシール貼りなどの作業も行われ、窯業などは職業訓練として実施しているそうです。

岡崎医療刑務所は、受刑者の状況に応じた様々な治療や訓練が施されていることがわかり、大変勉強になった見学会でした。

第63回横浜市更生保護大会

7月8日（水）第63回、横浜更生保護大会が、横浜市開港記念会館で開催されました。会場が400名定員のため、受賞者251名（保護司会、女性会48団体、個人）と保護司会、女性会の会長のみの出席となりました。今年は式典のみで、祝辞、謝辞、大会宣言、万歳三唱で閉会となりました。



社会貢献活動

磯子区更生保護女性会 会長 早川 弘子

7月17日（木）横浜保護観察所会議室にて、社会貢献活動の1つとして使用済み切手整理に参加しました。はじめに別室にて対象者との接し方について注意を受けましたが、対象者と一緒に作業をするのが心配でした。切手の整理に入ると対象者の方から声をかけてくれました。きれいな切手や珍しい切手があると、みんなに廻しその切手について話題にすることができ、和やかな雰囲気の中で作業が進みました。

当日整理した切手で「ワクチン」38本を、日本キリスト教海外医療協力会に送ることになりました。予算等の関係上、各区の参加は年一回に決められているとのことですが、機会があれば、多くの会員さんに参加してほしいと思いました。

今年のリーダー研修や、9月からはじまる県女性会主催ブロック研修会も、「社会貢献活動について」がテーマです。